

第71回 宮城県中学校総合体育大会柔道競技 審判監督会議資料  
大会実施上の新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

1. 参加について

- (1) 各学校長の責任の上、選手、帯同生徒、付添生徒に参加の意思を確認し、保護者からの承諾を得ることとする。また、「体調記録表(様式1-1)」に大会10日前からの健康状態が記載されたものを大会当日、白石刈田・角田伊具・柴田郡・亘理郡・名取市・仙台市・塩竈市・多賀城市は1階入口、それ以外の地区は2階入口で顧問が自校入場者全員のものを一括(顧問・外部コーチを含む)して提出する。

※全ての参加校の顧問の先生に大会役員として運営の協力をさせていただく。

※生徒引率がある大会役員は各入口で生徒・外部コーチの「体調記録表」と一緒に提出する。

※「学校同行者一覧表(様式1-2)」(選手一覧・観客一覧)は7月15日(金)までにメールにて提出する。

※大会役員のみ(選手引率なし)の場合は「体調記録表(様式1-3)」を1階入口すぐの受付で提出する。

※参加校校長、観客は「体調記録表(1-3)」を2階入口の受付で提出する。

※「大会参加に関する同意書」は各学校で保管しておく。

- (2) 選手が風邪の症状等、体調不良の際は免疫低下が懸念され、新型コロナウイルスに感染する可能性が高まるため休養を優先にし、参加させないよう各校で指導する。
- (3) 大会当日、体温が37.5℃以上またはせき・だるさ等の体調不良が確認された場合、専門部として入場を認めない場合がある。

2. 大会の衛生について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して参加者の安全安心を第一に考え、宮城県中学校体育連盟、宮城県武道館からのガイドラインを踏まえ、全日本柔道連盟のガイドラインを参考にし、大会を運営する。
- (2) 大会関係者は、武道館、試合場に入場する際は必ず設置されている消毒剤で手指消毒を行い、マスクを着用する。
- (3) 選手は、練習、試合以外ではマスクを着用し、試合場に入場する際、手指消毒を行い、足消毒マットを踏んで足の消毒を行う。
- (4) 団体戦3試合毎、個人戦12試合毎に試合場を消毒する。消毒は審判員・会場係で行う。
- (5) 大会登録選手は練習・試合を行う際には、クリアファイル・ジップロック等にマスクを入れて管理する。(クリアファイル等はA5サイズのを各校で準備し、選手名が見えるように記載する)
- (6) 参加校は手指消毒等のための消毒用アルコールを持参する。

3. 会場の入場制限について

- (1) 大会役員、登録選手、帯同生徒(観戦のみ)、付添生徒、登録選手の保護者等(各家庭1名)、部会長が認めた者の入場を認める。

団体戦：参加校は、最大で男女別の登録選手含む13名までの入場制限とする。

※男女どちらか一方の参加だった場合は、帯同生徒は男女どちらでも可。ただし、それぞれ

最大登録人数（男子8名，女子5名）が選手を合わせて超えてはならない。

例：男子のみ参加，登録人数が7人で帯同生徒が女子2人 → 計9人のため×  
女子1人 → 計8人のため○

男女団体参加の場合 → 計13人（登録選手・帯同生徒合わせて）まで○

個人戦：試合当日の参加校の選手が男女合わせて1名だった場合に限り，付添生徒1名を認める。付添生徒は男女問わない。

例：男子81kg級1名，女子57kg級1名のエントリー

→ 付添生徒は認めない（複数選手がいるため）

※この場合，棄権等があった場合でもエントリー人数は変わらないため選手の付添生徒は認めないこととする

女子40kg級1名のエントリー

→ 男子の付添生徒は認める（男女問わないため）

- (2) 2階観客席について，選手，帯同生徒，付添生徒，観客は（団体戦：男子2試合前，女子3試合前，個人戦：6試合前）の学校の待機を認める。試合をしているチームの選手以外の生徒，観客は観客席最前列の応援席を設置する。見学者として参加校校長は2階観客席を使用する。

選手，帯同生徒，付添生徒，観客の待機場所については3階剣道場または4階観客席とする。

※3日間ともに準決勝，決勝戦時については，表彰対象学校，選手および関係する観客の2階観客席での観戦を認める。

- (3) 観客について，①団体戦：登録選手1人につき各家庭1名まで可，②個人戦：出場選手1人につき各家庭1名まで可とする。

※未就学児の入場は認めない。

※保護者については各校1名，保護者大会役員としての協力を依頼する。（参加校の出場する全ての日程が同一人物でなくても可とする）

※保護者大会役員：時間を指定し，武道館入口2か所における受付，入場者確認，3-4階の見回り等の協力を依頼する。

#### 4. 会場の入場について

- (1) 生徒，観客は各地区指定された入口から入場する。生徒だけで入場せず，必ず顧問と一緒に検温を行ってから入場する。（顧問は入場後に1階柔道場：第3試合場で，受付を済ませる）
- (2) 入場後，選手は3階剣道場または4階観客席へ移動する。
- (3) 待機場所については各学校で割り当てる。（抽選後に割り当てを案内する予定）
- (4) 生徒引率以外の大会役員は1階玄関から検温後に入場する。
- (5) 観客は指定された時間以降に2階入口から入場し，3階剣道場または4階観客席へ移動する。

#### 5. 着替えについて

- (1) 男子選手は指定された待機所で更衣を行い，更衣室の利用は認めない。荷物は指定待機所へ移動させる。
- (2) 女子選手は1階と3階女子更衣室で更衣を行う。荷物は指定待機所へ移動させる。

## 6. 式典について

- (1) 開会式，閉会式は行わない。
- (2) 表彰式は①男女団体はそれぞれの決勝終了後，②個人戦は当日の決勝終了後に簡易的に行う。

## 7. 計量・服装検査

- (1) 服装検査時について，係員はゴム手袋を着用する。
- (2) A・Bグループそれぞれ割り振られた時間に3階剣道場で行う。  
※グループは抽選会後に決定

## 8. 応援等について

- (1) コロナ対策の一環として，声を出しての応援・声援は禁止とする。
- (2) 試合が中断している時の監督からの指示は認める。

## 9. 試合前のアップ練習について

- (1) 設定した時間において柔道場でのアップ練習，剣道場での計量・服装検査と2グループに分けて行う。
- (2) グループ分けについては抽選後に設定をする。
- (3) 剣道場でのアップ練習を可とする。(本計量，服装検査時はアップ不可)
- (4) 練習について登録選手(男子8人，女子5人)，付添生徒のみとし，場所取りは禁止とする。
- (5) 帯同生徒は待機場所で待機する。
- (6) 係員の指示があるまで，それぞれの待機場所で待機する。

	本計量, 服装検査	練習
Aグループ	8:20~8:35	8:55~9:30
Bグループ	8:55~9:10	8:15~8:50

\*日程等も含めて変更あり

## 10. 団体戦，個人戦申し合わせ及び試合順序について

### (1) 団体戦

- ①試合時に1階柔道場(試合会場)に入場できるのは試合を行う選手(男子5人，女子3人)のみとする。
- ②自校が対戦するときのみ控え選手等は指定待機場所から最前列応援席(特設)に移動して観戦する。自校の対戦がない場合は，3階剣道場または4階観客席の指定待機場所で待機する。帯同生徒，観客も同様する。
- ③(男子2試合前，女子3試合前)のチームのみ2階観客席での待機を可とする。1試合前のチームは1階通路での待機を可とする。帯同生徒，観客も同様とする。
- ④団体戦3試合毎に試合場の畳の消毒を行う。

### (2) 個人戦

- ①試合時に1階柔道場(試合会場)に入場できるのは試合を行う選手と1試合前の選手のみとする。※1階通路での待機は3試合前まで可とする。

- ②自校の選手が対戦するときのみ，登録選手，付添生徒，観客は指定待機場所から最前列応援席（特設）に移動して観戦する。当該選手，自校の選手の対戦がない場合は，3階剣道場または4階観客席の指定待機場所で待機する。
- ③6試合前の選手，該当選手の保護者等は2階観客席での待機を可とする。
- ④12試合毎に試合場の畳の消毒を行う。
- (3) 選手，帯同生徒，付添生徒，観客の移動経路は1～4階を上るときは駐車場側階段を，降りるときは道路側階段を使用する。（大会役員は除く）
- (4) 選手は試合の直前（整列する時を含む）までマスクをしているものとする。自分の試合直前にマスクを外し，専用のクリアファイル等に入れて，マスク置き場に置く。試合終了後はマスクを着用し，消毒後に2階待機場所へ移動する。
- (5) 1階柔道場（試合会場）のトイレは役員・審判員専用とする。保護者は2階のトイレを使用する。選手は待機場所となる3階または4階のトイレを使用する。
- (6) 試合場運営（タイマー，記録，掲示等）については大会役員・補助役員生徒で行う。

#### 1 1. その他

- (1) 発熱等の体調不良を訴えた生徒がいた場合は，顧問が委員長へ報告をする。
- (2) 不測の事態が生じた場合，専門部会長，副部会長，委員長が協議し，対応を決定する。
- (3) 大会参加前に参加予定校において新型コロナウイルス感染者等が発生した場合は，必ず県委員長まで報告することとする。
- (4) 昼食については，3階または4階の指定待機場所において，対面にならないように黙食とする。各校で出したゴミは必ず持ち帰ることとする。